

巻頭言 「ひとつの歌をうたおう」

宇野 元

うたおう。ひとつの歌をうたおう。
よいことをうたおう。わるいことじゃなく。
嬉しいことをうたおう。悲しいことじゃなく。
人にきいてもらえるほどじゃないなど
遠慮しないで。

カーペンターズ「シング」

南アフリカの音楽家が発表した歌が、昨年、コロナ禍が猛威を振るいだした時期にダンスチャレンジの曲となって、いま世界中にひろがっています。マスク着用の病院スタッフや、会社員や、学生と教職員、町の人々、教会の人々、司祭や牧師まで、さまざまなグループが、親しみやすいリズムに合わせて踊る映像をインターネットで見ることができます (Jerusalema Challenge)。歌詞はアフリカの一言語、ズールー語で書かれており、歌の意味を知るには翻訳が頼りですが、一つの単語を明瞭に聞き取ることができます。ジェルサレマ！と繰り返し歌われます。エルサレム！と。

エルサレムはわたしの故郷
わたしを守り
伴ってください

エルサレムが、私たちの霊的な地図にある場所、天のエルサレムとして歌われています。私たちのあこがれの場所、聖書が語る新しい天と新しい地の意味で。パンデミックの困難な状況がつづくなかで、世界の人々がこの歌によって踊りの輪を作っているのを思うと、楽しい気持ちになります (たとえ歌詞を意識しない人が多いとしても)。エルサレムは、イエス・キリストが十字架につけられた場所です。キリストの苦しみが私たちを支えています。そしてキリストが復活した場所。キリストの苦難と復活のゆえに、たしかな心で新天新地を仰ぐことができます。多難な世界に希望の礎が据えられています。